

テーマ：SAF と廃食用油の回収

生活環境コース 30 期

グループ名：ヤングシルバー5 人衆

リーダー：後藤昭二

メンバー：石田憲一郎、中川政也、平野貞介、山田兼久

SAF（持続可能な航空燃料）のことを初めて知ったのは、3 年ほど前に NHK の番組でドイツで脱炭素を目指した画期的な航空機燃料を開発・製造し始めているとのことを見たことからです。当時の私は、SAF は SAP と何か関係あるのかなという程度でした。

SAP はドイツの ERP パッケージソフトのひとつであり IT 業界では有名です。

その後、シルバーカレッジに入学し、3 年生の 5 月に神戸市においても「スマートシティ構想」なるプロジェクトが進められており、そのひとつとして SAF への取り組みも視野に入れているとのことでした。まだまだ SAF 事業は黎明期であり、未知の分野でもあるのですが、それだけに遣り甲斐もありそうだと思います仲間を募りました。

われわれ、ヤングシルバー 5 人衆は各々が、自分なりにネットや文献などから知識を得、その後、生きた情報収集のためフィールドワークとして、堺市役所、神戸市役所、京都市廃食用油燃料化施設、レポインターナショナルを訪問しました。実際に現地に行き、また現場の担当者と質疑応答を重ねることにより、一般市民としての心構え、知見を得ることができ、また一歩踏み込んだ我々からの提言ができたのは、グループでフィールドワークをしたことによるところが大きいと感じました。

SAF は主に食用油をリサイクルすることで航空燃料として利用できます。また既存のインフラ、つまり今のジェットエンジンがそのまま使えますので、新たなエンジンを開発する必要はありません。同時に食用油は使用后、廃棄物となりそのまま捨てれば地球環境においてもマイナスです。

我々はこの使用済み食用油、廃食用油をいかに回収し、効率よく SAF にリサイクルできるようにするには、一市民として何ができるか、また何をすべきかを考察しました。

ひとつは、神戸市が設置している「廃食用油回収ボックス」に、ペットボトルに入れた使用済みの食用油を投入すること。もうひとつは、コープこうべの週一回の配送時、配送担当の方にペットボトルに入れた廃食用油を手渡すことです。簡単なことです。

実際に我々の提言により、ここシルバーカレッジにも昨年 12 月に「廃食用油回収ボックス」が設置されました。

市民ひとりひとりが意識をもって、地球環境、脱炭素、リサイクル、資産地消とは具体的に我々がどのように行動すべきなのか、この廃食用油回収による SAF へのリサイクルは身近なテーマであり、また誰でも容易に参加できる地球環境を意識した取り組みであると結論づけました。